

https://www.thedesertreview.com/opinion/columnists/indian-bar-association-sues-who-scientist-over-ivermectin/article_f90599f8-c7be-11eb-a8dc-0b3cbb3b4dfa.html

インド弁護士会、イベルメクチンをめぐってWHOの科学者を訴える

ジャストス・R・ホープ

Jun 7, 2021



インド弁護士会(IBA)は5月25日、WHOの主任科学者スミヤ・スワミナタン博士を訴え、イフェルメクチンについて誤解を招いてインド市民の死を引き起こしたとして71ポイントのブリーフで彼女を非難した。

ポイント56は、「2021年5月10日のイベルメクチンの使用に対する誤解を招くツイートは、タミル・ナードゥ政府がCOVID-19患者の治療に対して同じことを示したわずか1日後の2021年5月11日に、タミル・ナードゥ州がイベルメクチンを議定書から撤退させる効果を及ぼした」と述べている。

<https://science.thewire.in/health/tn-revises-protocols-leaves-out-ivermectin-for-covid-patients/>

インド弁護士協会の主任弁護士であるディパリ・オジャは、彼女の手数料と不作為の行為によって引き起こされた「死ごとに」スワミナタン博士に対する刑事訴追を脅かした。ブリーフは、有利なワクチン産業のためのEUAを維持するために特別な利益の議題をさらに進めるために保健当局としての彼女の地位を使用して、スワミナタンの不正行為を非難しました。

<https://indianbarassociation.in/press-releases/>

具体的な告発には、イベルメクチンに対する情報漏えいキャンペーンの実施と、COVID-19の予防と治療の両方における深い有効性を示す大量の臨床データが存在するにもかかわらず、イベルメクチンの使用に対して国民に不当な影響を与える社会的および主流メディアでの声明の発行が含まれていた。

特に、インドのバーブリーフは、WHOのコンサルタントでメタ分析の専門家であるテス・ローリー博士が率いる10人のフロントラインCOVID-19クリティカルケアアライアンス(FLCCC)グループと65メンバーの英国イベルメクチン勧告開発(BIRD)パネルによってまとめられた査読出版物と証拠を参照しました。

ブリーフは、IVERMECTINを受け取るためにCOVID患者を死ぬために裁判所命令が必要とされたニューヨークでの米国弁護士ラルフ・C・ロリゴの病院ケースを引用しました。このような昏睡状態の患者の複数の例では、裁判所命令のイベルメクチンに続いて、患者は回復した。さらに、インド弁護士会は、このフォーラムに掲載された以前の記事を引用しました、砂漠のレビュー。

支持者オジャは、ポイント60と61のWHOとスワミナタン博士は、マスク着用からウイルスの起源に関する中国の追放に対するパンデミック全体のインドの人々を誤解し、見当違いしたと非難しました。

「世界は徐々にあなたの不条理で恣意的で誤ったアプローチに目覚め、でっち上げられた事実を『科学的アプローチ』として提示しています。WHOは「すべてを知っている」ように誇示する一方で、新しい服を着た天皇に似ていますが、全世界が今までに実現している間、天皇は全く服を持っていません。

ブリーフは、WHOが膨大な情報漏えいキャンペーンに加担していると非難した。ポイント61は、「FLCCCとBIRDは、情報漏えい、抵抗、製薬会社のロビーやWHO、NIH、CDC、米国FDAのような規制当局からの強力な健康利益からの叱責の課題に取り組むための手ごわい力を構築する模範的な勇気を示しています。

スワミナタン博士は、ワクチンと製薬業界のEUAを維持するためにイベルメクチンの信用を落とす彼女の不正行為のために呼び出されました。ポイント52は、「下心の目標を達成するために意図的に人々の死を選んだようで、これはあなたに対する刑事訴追の十分な根拠です。

インド弁護士会は2021年6月5日にウェブサイトにもアップデートを掲載し、スワミナタン博士が現在悪名高いツイート削除したことを明記した。彼らは、「しかし、このツイートを削除しても、インド弁護士会の積極的な支援を受けて市民が立ち上げられる刑事訴追からスミヤ・スワミナタン博士と彼女の仲間を救うことはできない」と書いた。

<https://indianbarassociation.in/blogs-iba/>

このアップデートでは、ディパリ・オジャ提唱者が計画された行動の性質を明らかにし、

「インド弁護士会は、イベルメクチンによるCOVID-19患者の治療における妨害によって死亡した各人を殺害したとして、スミヤ・スワミナタン博士などに対するインド刑法第302条等に基づく行動を警告した。インド刑法第302条に基づく刑罰は死刑または終身刑である。

さらに、「この通知を受け取った後、スミヤ・スワミナタン博士は後ろ足で行き、彼女のツイートを削除しました。これは、COVID-19のためのイベルメクチンに対するWHOの勧告の空洞性を証明しています。WHOの不誠実さと、彼女の論争のツイートを削除するスミヤ・スワミナタン博士の行為は、ニュースがソーシャルメディア上で広く報道されるにつれて、世界中の市民によって目撃されました。このツイートを削除することで、スミヤ・スワミナタン博士は彼女のマラフィデの意図を証明しました。

それを採用した場所は、彼らのアウトブレイクがそうでない州とは対照的にすぐに消滅したので、全世界がインドの致命的な第二の急増に対するイベルメクチンの有効性を目撃しました。

最も顕著な例の中には、デリー、ウッタル・プラデーシュ州、ウッタラカンド、ゴアのイベルメクチン地域があり、それぞれ98%、97%、94%、86%減少した。対照的に、タミル・ナドゥはイベルメクチンをオプトアウトした。その結果、彼らのケースは急増し、インドで最高に上昇しました。タミル・ナドゥ州の死者は10倍に増加した。

https://www.thedesertreview.com/news/national/ivermectin-obliterates-97-percent-of-delhi-cases/article_6a3be6b2-c31f-11eb-836d-2722d2325a08.html

タミル・ナドゥ州は、ソーシャルメディア上の5月10日のツイートのイベルメクチンの最初の選択を取り消すスワミナタン博士のアドバイスに公然と頼っていた。直接的な結果として、タミル・ナドゥ州はCOVIDの死亡と病気の急増を経験し、今日まで続いています。

インド弁護士会は、汚職を呼び出し、命を救うために、公衆衛生当局(PHA)に対する画期的な裁判をあえて開始しました。米国の裁判所は、患者がイベルメクチンを受け取る権利を確保するための救命部隊であることが判明したので、インドの裁判所は現在同じことをしています。

公衆衛生当局の刑事訴追は、死につながる情報漏えいキャンペーンが結果をもたらすという強力なシグナルを送ります。おそらく、この経路は、最終的に人命を救うために転用された薬物使用の周りの情報漏えいと検閲の絞殺を破るでしょう。たぶん、私たちは医学と法律の両方で、インドの例に従って他の国を目撃するでしょう。

署名

ジャストス R. ホープ、MD